

変化の足音



先々週、学年集会を開きました。

主に「授業を大切にしよう」「朝のスタートを大切にしよう」この2つの話だったけど、その後、みんなはどう感じていますか？先生たちは少し変化の兆しを感じています。例えば・・・

- ・単純に授業が以前より少しは静かになっている。
(前の張り紙を声に出していつってくれる人も・・・)
- ・個人に注目しても「今までのことを反省し新しい1歩を踏み出そうとしているのかな。」と感じられる場面がある。
- ・一方でいまだに授業中騒いだり、必要以上に大きな声をだすことに対しては「静かにしてほしい」「いい加減にしてほしい」「迷惑だ」という意見(怒りの声)を耳にする。
- ・8:30までに連絡なしで遅刻する人は学年でほぼゼロになった。(保護者の皆さまも協力ありがとうございます)
(次のステップは「8:30までに全員登校する」だね)

などです。もちろん完璧ではないし、あまり変わっていないと感じている人もいるでしょう。しかし少なくとも変化の兆しはあるんじゃないかな？先生たちには、みんなが3年生になるにむけて、最高学年になるにむけて、受験生になるにむけて、少しずつ歩みを進めだした足音が聞こえるような気がします。

ひよっとすると先生たちが気付けていないこともあるかもしれない。何かあれば言ってください。

理想は学年のみんなであるべき姿に歩みを進めていくこと。自分を大切に、仲間を大切にしよう。誰かをはずすのではなく、まちがった行動をとる人には注意し、その人が改めることによって、みんなで明るい太陽のもと大きく手を振りながら歩いていけたらいいなと思っています。



自分を注意してくれる人

そのために欠かせない大切な要素は、「注意されたときどう動くか」じゃないかな。

◇アカンパターン その①◇ 「注意した相手を責める」



私もアカンかもしれへんけど
自分だってできてへんやん！

◇アカンパターン その②◇ 「他にもできていない人の存在を主張する」



〇〇だってできてへんやん！
なんで自分だけ注意されるん！

口は1つ。
耳は2つ。



注意してくれる人は自分に成長の機会を与えてくれる人。

言い返すのをグツとこらえて、^{しんし}真摯に受け止められるといいね。

もっと言うなら中学生としては他律ではなく自律していきたいところ。

そのためには 「くどいくらいの……」 もういっか(笑)